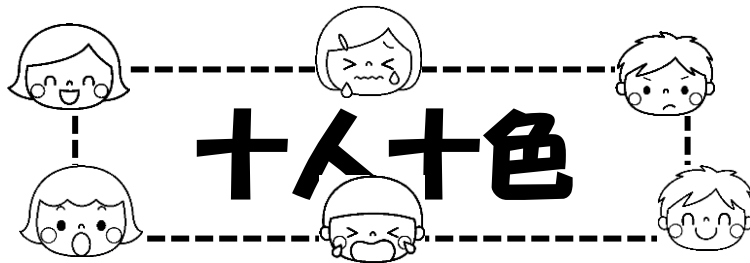


# 2月



2021, 1, 29

縄瀬 保育園

山元 紀代美

NO19

(みんなちがってみんないい!!)

## \*生き抜く力

ひまわりクラスの担任が大笑いをしながら「園長、この動画をみてください!」持ってきました。4組のおなじみH君。お風呂場にある椅子を3つ持ってそれを動かしながら、移動しています。「えっ!」と思っていると担任が説明をしてくれました。園庭に忘れ物をしたH君。それを探しに行くところだそうです。1回きれいに足を洗ったので、靴を履くのもめんどくさいし、足がまた汚れるのも嫌だし…で彼が考えたのが、こういうことだったのだとか・・・主任と担任は、笑いながら動画を撮ったようです。私も見せてもらいながらおかしいやら、感動するやら。5分くらいこの状態で移動して、デッキに到着した時の満足したH君の顔。「やった!」という達成感を感じているようでした。

以前の保育をしていた頃だったら、どうだったでしょう?きっと「よだきん坊せんで、早く靴を履いて取りにいきなさい!」なんて言葉をH君に浴びせていたかもしれません。今は、笑いながら「すごい!H君どんなことがあっても生きていけるね」なんて賞賛の言葉です。大人が余裕を持って接してもらっている子どもは幸せです。子どものすべてを認めて、信じて待ってもらえる子どもは幸せです。そんなことを思うことでした。

職員間でも、「子どもを見守る」ってどんなこと?話をしました。ただ子どもを見ているだけだったら保育士でなくても出来るのです。幼児教育の専門家である私たちの「見守る」と言うのは「子どもを信頼し、子どもの思いを理解して応援しながら見守る」という事が大事なのではないかと。そして、子ども達がつまずいたり、迷って助けが必要になったら一緒に考えていくという立場になってほしい事を伝えました。

H君、最後まで助けを求めずにやり遂げたという事も彼の中でまた一つ「生きる力」いや「生き抜く力」になっていくのではないのでしょうか?

今年度も残り2ヶ月となります。子ども達の活動は充実期になって遊びが、最高に盛り上がり、それぞれ毎日充実しています。担任が「体がもっとたくさんあったらいいのに!そしたらもっと子ども達の面白い遊びの発見が見られるのに・・・。今子ども達、最高に面白いですよ。」といった言葉が本当にうれしい園長でした。



## \*今日はすごいもの 見たんだ!

朝、5組のRちゃんが教えてくれました。「園長!にわとりから卵が産まれるところを見た!」と言ってきました。よくよく話を聞くと、にわとり小屋に卵が産まれているか見に行ったら、Rちゃん。巣箱に1羽座っていたうこっけいのお尻を持ち上げてみたら、なんと丁度半分卵が出て来るところだったそうです。びっくりしたRちゃん。すごく印象に残ったようで興奮気味に話をしてくれました。「お母さんはちょっと苦しそうだった」「卵と一緒に血も少し出ていたんだよ!」 「そうかあ、すごいねえ。園長はまだ見たことがないなあ」と話が

盛り上がりました。にわとりを飼っていて本当に良かったなあと思うことでした。私たちが経験させてやれない感動を動物たちが子ども達に教えてくれるんだなあ。

子ども達が遊んでいる横をアヒルが散歩しています。畑の土を掘り起こして口ばしを真っ黒にししながら、虫でも掴まえているのでしょうか?動物たちが身近にいる環境の中で子ども達は何かを自然に学んでいきます。最初は珍しくて追いかけてまわしていましたが、今では自然に仲間になっているようです。

ゆったりの時間とたっぷりの経験を子ども達に保障してあげたいと思います。

